

英語	英語 A
----	------

《担当者名》教授 / 塚越 博史hiro@

【概要】

英語学力の基礎を確認し、徹底させる。英語多読・多聴、e-Learningを駆使しながら英語の総合力を養う。

【学修目標】

指定された基本語彙・表現を「並べかえ、英訳、高速音読」により、リプロデュースする。

易しい英文に対して、文型や語法、日本語逐語訳を意識することなく英語の感覚をもって、ある程度迅速かつ正確に、その書かれている内容、筆者の意向を理解し、それに対する自分の考えを表現する。

英語の文章を読むために必要な読解ストラテジーを説明する。

・ 平易な語彙や基本的な文型を用いて書かれた英語の小説やドキュメンタリーを、文型や日本語逐語訳を意識せず、書かれている内容のメイン・ストーリー・ラインを予測・検証しながら、ある程度のスピードを保持して読み進める。

英語の音声聴取に必要な基礎的ストラテジーを使用し、難易度の高くない英語音声を聞き概要を理解する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	基本文型・語法の確認、演習	リーディング演習・リスニング演習 本学指定基本語彙・表現(1) 教科書まわし読み1冊目(1)	塚越 博史
2	基本文型・語法の確認、演習	リーディング演習・リスニング演習 本学指定基本語彙・表現(2) 教科書まわし読み1冊目(2)	塚越 博史
3	基本文型・語法の確認、演習	リーディング演習・リスニング演習 本学指定基本語彙・表現(3) 教科書まわし読み2冊目(1) 洋楽の聞き取り：音の連結に慣れる(1)	塚越 博史
4	基礎文型・語法の確認、演習	リーディング演習・リスニング演習 本学指定基本語彙・表現(4) 教科書まわし読み2冊目(2) 洋楽の聞き取り：音の連結に慣れる(2)	塚越 博史
5	基礎文型・語法の確認、演習	リーディング演習・リスニング演習 本学指定基本語彙・表現(5) 教科書まわし読み3冊目(1) 洋楽の聞き取り：音の脱落に慣れる(1)	塚越 博史
6	基礎文型・語法の確認、演習	リーディング演習・リスニング演習 本学指定基本語彙・表現(6) 教科書まわし読み3冊目(2) 洋楽の聞き取り：音の脱落に慣れる(2)	塚越 博史
7	基礎文型・語法の確認、演習	リーディング演習・リスニング演習 本学指定基本語彙・表現(7) 教科書まわし読み4冊目 洋楽の聞き取り：変化する音に慣れる	塚越 博史
8	中間のまとめ	第1回～第7回の内容の確認 リーディングに関しては、新作を使用 リスニングも新曲使用	塚越 博史
9	多読・多聴による基礎力養成	リーディング演習・リスニング演習 洋画セリフの聞き取り(1)	塚越 博史
10	多読・多聴による基礎力養成	リーディング演習・リスニング演習 洋画セリフの聞き取り(2)	塚越 博史
11	多読・多聴による基礎力養成	リーディング演習・リスニング演習 洋画セリフの聞き取り(3)	塚越 博史
12	多読・多聴による基礎力養成	リーディング演習・リスニング演習 洋画セリフの聞き取り(4)	塚越 博史

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
13	多読・多聴による基礎力養成	リーディング演習・リスニング演習 コミュニケーションに関する心理テスト(1)	塚越 博史
14	多読・多聴による基礎力養成 CBT対策	リーディング演習・リスニング演習 コミュニケーションに関する心理テスト(2) A-7-1) A-7-2)	塚越 博史
15	多読・多聴による基礎力養成 CBT対策	リーディング演習・リスニング演習 コミュニケーション能力に関するシミュレーション・ ゲーム A-7-1) A-7-2)	塚越 博史

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

基本語彙・表現（30％）、定期試験（30％）、小テスト（30％）、課題（10％）

【教科書】

English Motivator（成美堂）

【参考書】

Cambridge Experience Readers（CUP電子書籍）

Cambridge Young Readers（CUP電子書籍）

Page Turners 50 titles（Cengage Learning）

【学修の準備】

第2回目以降は前の講義内容の復習小テストを実施するので練習（準備）する。

練習したものは課題として提出を求められ、加点対象となる。

・内容の多くが定期テストに含まれるので日ごろから真剣に取り組む。

予習目安時間：40分、復習目安時間：60分

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2.「患者中心の医療」を提供するために必要な高い倫理観、他者を思いやる豊かな人間性および優れたコミュニケーション能力を外国語の観点から身につける（プロフェッショナリズムとコミュニケーション能力）。

DP5. 歯科医療の専門家として、地域的および国際的な視野で活躍できる能力を身につけるために必要な知識を外国語の観点から修得する（社会的貢献）。